

公益社団法人 横芝光町シルバー人材センター

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日

1. 事業概要

令和4年度定時総会において、役員の改選に伴い人事を一新し、当センターで抱えている諸問題への取り組みを強化、並びに高齢化が急速に進む中、元気な高齢者が地域社会の問題解決の担い手として活動していく就業の場を、役員が先頭になり礎を築き始めたところです。明けて令和5年度になり、新型コロナウイルス感染症も5月にはインフルエンザ同様の「5類」に類別される模様です。

今迄3年間の閉ざされていた社会生活が、再び動き出そうとしています。

シルバー人材センター事業としては、令和4年度も年度当初から感染症対策を講じながら状況の変化に応じた取り組みを進めてきましたが、この大きな影響を受けたことは例外ではありませんでした。

このため、重点的な取り組み事項として掲げていた会員の増員や会員を取り巻く環境整備等の推進に関しては、人と人との集まりや外出の制限などからイベントや研修会、講習会の開催中止や縮小に迫られましたが、毎月1回の定期的な入会説明会の継続に加え、商工会議所を通して入会の新聞折込チラシやポスターによるPR活動、ポスティング、リーフレット配布など様々な会員確保に向けての活動を行いました。

また、会員の入会促進として、女性会員拡大担当理事が中心となり毎月第3水曜日に「サロン」と称した入会説明会と、生きがい広場的なものを融合した催しを設けて、センターの理念である「自主・自立」「協働・共助」の意義をわかりやすく伝達しながら、参加者等の意見を参考にして広く周知してきました。並行して高齢会員への対応も模索してまいりました。事務所職員にも手伝ってもらい、包丁研ぎの仕事や洋服のリフォームなど、座ってできる仕事を中心に探ってきましたが、会員さんのスキルと仕事の依頼のマッチングがなかなか上手くいかず今日にいたっております。引き続き視野を広げて開拓を進めてまいります。

安全就業については、センター事業の最優先課題であり会員の事故防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業委員会を中心に会員の安全就業(安全講習会等)、健康管理並びに適正就業の推進に努めてまいりましたが、本年度は物損事故5件、傷害事故2件が発生するという結果になりました。事故の多くは、日頃の慣れからくる過信が要因であることから、今後も安全就業に対

する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に事故撲滅に努めてまいります。

この様に、コロナ禍による非常に厳しい社会情勢の中で、公益社団法人としての社会的役割と法令遵守の観点から事業運営に努めてきた結果、下記の表のような数字となりました。

当センターでは、このような情勢だからこそ役職員が一体となり会員相互の連携を深め、個々の能力を活かした事業運営となるよう引き続き取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

項目	2021年度	2022年度	増減	伸び率
正会員数	179人	169人	▲10人	94%
就業実人数	123人	132人	10人	107%
就業延人数	18,512人	19,518人	1,006人	105%
契約額	114,016,088円	122,302,325円	8,286,237円	107%

※ 派遣事業を含む総事業実績

2. 事業実績

(1) 就業に関する調査及び研究

今年度も、全国的なコロナ禍の影響で全シ協・千シ連が実施する各種会議や研修会がリモートによる会議になるなど、多くの研修会等も中止となりました。

一方、当センターでは新規入会希望者の拡大確保と入会手続きの利便性を追求しホームページをリニューアルしました。広くシルバー人材センターの事業理念を周知しております。また、会員以外の方も交えた女性部会による「折り紙教室、コーラス、写経」などを開催し、受講された方(非会員)に新たな会員への勧誘を試みるなど女性会員数の拡大を図りました。

(2) 地域センターとの交流会及び協議会

令和4年8月2日に町図書館会議室において、労働局、千シ連、東総地区センターによる介護事業に参入する為の交流会が行われました。残念ながら他地区からの参加は実現しませんでした。当センターと町内の介護施設のスタッフが一堂に会し有意義な時間を過ごすことができました。各施設の要望や置かれている環境等を説明されました。後日、特別養護老人ホーム「吉祥苑」様から早速ご要望があり、2～3名の会員様が現在活動しています。

また、令和5年3月6日に多古町社会福祉協議会で、東総地区6センターと連合会から3名の方々にご臨席を賜り、約2時間にわたり実績報告と意見の交換を行

いました。

当センターからは、藤井会長、大川戸副会長、菅原事務局長の3名が出席しました。席上、過去の経緯について他のセンターにかけた迷惑をお詫びし、令和5年度の幹事を拝命してまいりました。今後は地域社会に密着した事業活動を展開して、地域の発展に貢献できるよう邁進していく覚悟です。

(3) 高齢者のみの家庭に対する取り組み

横芝光町では、現在約15パーセント位が高齢者のみの家庭になっています。受注の傾向を見て最近強く感じることは、高齢者家庭からの依頼が増えていきます。中身をのぞいてみると、「ゴミ出し、電球の交換、買い物、掃除」などなどです。この様な要望に応えるべく、センターでは早速「ワンコインサービス」のパンフレットを作成して動き始めております。このサービスの要点は、30分以内で済む様な仕事のみを500円でお引き受けする対応であるということです。

また、手足が不自由などで、日常生活がままならない高齢者家庭からは、お風呂、台所などの掃除の依頼も増えてきております。今後このような事例がますます多くなっていくことと思われまますので、高齢の方たちに優しい取り組みを心がけていこうと考えております。

3. 事業実施状況

(1) 組織運営と活動

① 会議

(ア) 定時総会	1回
(イ) 理事会	12回
(ウ) 3役会議	36回
(エ) 専門部会	12回
(オ) 委員会	22回

(広報16回・安全委員会6回、会報なのはな3回)

(2) 安全就業対策

① 安全就業強化月間(7月・12月)の開催

- (ア) 強化月間には、理事会役員による就業現場への巡回点検を実施
- (イ) 安全就業基準の徹底及び安全委員会による安全点検の実施
- (ウ) 12月の強化月間には、安全就業標語を募集、優秀作品の選定と応募

- ② 安全意識の啓発
 - (ア) 朝のラジオ体操後に行う朝礼と安全唱和の実施
 - (イ) 作業前の現場での危険予知活動記録を班員みんなで作成し安全作業を心がけることを徹底している
- ③ 事故再発防止検討委員会等の開催
 - (ア) 傷害・賠償事故発生の都度、事故原因の検証や再発防止を目的に対策等を検討
 - (イ) 高所作業従事会員(植木班)を対象に、作業別安全就業基準の遵守徹底を目的とした周知を都度行った
- ④ 社会奉仕活動
 - (ア) 栗山川クリーン作戦の奉仕活動への参加や町庁舎敷地内除草のボランティア活動、九十九里浜海岸の清掃など奉仕活動をさせていただきました。これからも会員の皆様の意識向上に向けて、ボランティア活動を積極的に行ってまいりたいと思います。